

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報特別演習2(Special Exercises in Media Technologies 2)	授業コード	C175451
担当教員名	伊藤 研、赤星 哲也、濱田 大助、高 文局、吉森 聖貴	科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	1
履修上の注意または履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。(学科推奨科目) 履修制限: 当該学年次のみ履修可、再履修: 不可		
受講心得	授業時はもちろん、学内外での取り組みも重要になります。		
教科書			
参考文献及び指定図書	就職基礎Drill 実務教育出版(2年前期 社会参画応用にて配布) 就職活動の神様の一般常識 問題集 ユーキャン就職試験研究会 他必要に応じて 就職活動の神様の一般常識 速習テキスト ユーキャン就職試験研究会 中3五科(10分間基礎ドリル20) 学研教育出版 就職活動の神様の一般常識これだけ! 一問一答集 ユーキャン就職試験研究会 就職活動の神様のSPI2問題集(ユーキャンの就職試験シリーズ) 就職活動の神様の一般常識「超」定番の1,000問プラス最新時事(ユーキャンの就職試験シリーズ)		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報特別演習(1~8)		

授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの1年後期のステップです。主テーマ 将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。
授業の概要	授業の中で、様々な講演等から、将来の方向性について考えます。また、「グループディスカッションや」「実物体験」等に取り組む、計画性、主体性、自主性に加え、専門業界が、どのように実際の社会の中で活用され、どのように構築・制作されているのか、学習します。さらに「GATB」と「一般常識模試」に取り組む、自身の適性や基礎学力能力を捉え、結果から、今後の学習計画を立てます。 実物体験: 学内外で実施されるイベント・発表会・展覧会・説明会・シンポジウム・企業訪問等での学習。各自で自主的に取り組みます。 主テーマ 将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週: ガイダンス 本授業での取り組みについて説明を行いません。	配布資料、活動報告書、進路希望調査、48か月計画
第2週: 実物体験① 半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組めます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
第3週: 就職活動体験談1 本年度の就職活動生で内定取得者が、就職活動にて取り組んだことを、全学生に向けて発表します。学生は、話から就職活動に向けて取り組むことを学習します。	活動報告書
第4週: 実物体験② 半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組めます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書
第5週: 実物体験③	

半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書	
第6週：実物体験④ 半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書	
第7週：実物体験⑤ 半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書	
第8週：卒業研究 口頭審問① 参加 12月に開催される卒業研究 口頭審問に参加し卒業研究に触れます。4年生の発表から、将来の目標や研究への取り組みについて、検討します。	活動報告書	
第9週：研究室訪問① 卒業研究の口頭審問を受け、研究室を訪問します。訪問した研究室において、卒業研究の取り組みや、卒業研究に向けた取り組みについて、各先生方や各先輩から学びます。	活動報告書	
第10週：研究室訪問② 卒業研究の口頭審問を受け、研究室を訪問します。訪問した研究室において、卒業研究の取り組みや、卒業研究に向けた取り組みについて、各先生方や各先輩から学びます。	活動報告書	
第11週：実物体験⑥ 半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます	活動報告書	
第12週：卒業研究 口頭審問②、ポスターセッション 参加 2月に開催される口頭審問②やポスターセッションに参加し、実際の卒業研究に触れます。これらから、将来の方向性について再度検討します。	活動報告書	
第13週：個別面談 入学して約1年が経過します。大学生活を振り返り、今後について、担任と共に考えます。	活動報告書	
第14週：ワーク 期末小テスト(一般常識模試、時事) 一般常識テストと時事問題を体験します。	活動報告書	
第15週：ガイダンス、学習計画の立案 1年の締めくくりとして、ガイダンスに取り組みます。また第14週に取り組んだ期末小テストの結果を返却します。試験結果から、自身の能力を捉え、改善するべき所を明らかにし、学習計画を立てます。	学習計画	
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。
【知識・理解】	実践的な就職活動に向けた、知識の習得
【技能・表現・コミュニケーション】	実物体験や、各種諸先輩方の発表を聞き、それらに対する質問から、自身で考え、展開し、質問
【思考・判断・創造】	将来の方向性について絞れるだけの知識を身につけます。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		25点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		25点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		25点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容
発表・その他(無形成果)	課題やワークへの取り組み